

令和6年度 秦野総合高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

令和6年6月6日(木) 18:00~19:00 会議室

司会：教頭

1 委任状交付

2 開会

3 資料確認

4 学校運営協議会委員、学校職員紹介

・自己紹介

5 校長あいさつ

- ・全日制は1年ふれあいの村宿泊研修、2年羽田東京方面の遠足で親睦を深めた。
- ・定時制は江の島遠足
- ・働き方改革より、業務アシスタントが2名となり、会計だけでなく印刷等の教育にかかわらない業務を担当していただいている。
- ・困難を抱える生徒に対して SC、SSW を配置して対応している。

6 議事

(1) 学校教育計画(令和6年度~令和9年度)について

- ・今年度から新たに4年間の計画となる。作成に当たり、学校のミッションは変わらないが見直しをして、学校教育目標と計画策定時点での課題は作成し直した。

[全日制]

(委員)： 入試の倍率が低いということについて、対策とその背景について教えていただきたい。

(校長)： 昨年度は全日制については倍率がついた。
昨年度は5回学校説明会を行い、秦野総合高校について知ってもらった。
今年度も5回計画したり、文化祭にも来ていただいたりして、広報をする。
中学校にも出向き、学校説明会を行う。
部活動の魅力を感じている生徒も集めている。

(2) グランドデザインについて

[全日制]

(委員)： 部活で魅力を発信するような高校と思っていたため、学力だけでなく、中学校にも活動する姿を見せて、スポーツの魅力を実感させてほしい。
中学校に行き、活動してほしい。

(校長)： バレー部や女子ソフトテニス部は本校に招待して練習している。

中学校へ出向き活動することについては、今後調整して行きたい。

[定時制]

- (委員) : 多様性、個性を尊重しろという世の中でも、入学した生徒が「良かった」と思えることが良い事だと思う。
基礎学力の定着に努めてほしい。
- (校長) : 定時制は人数が少なく、学力が定着していない生徒に対して親身になって指導している。社会の中で活躍させてあげたいと考えている。
- (委員) : 4年ごとの計画というよりも、毎年度で課題を的確に把握し、解決していくことが大事だと思われる。

(3) スクールポリシーについて

省略

(4) グループ編成状況について

資料参照

7 学校評価部会

(1) 令和4年度学校評価報告書(実施結果)について

- ・資料にて確認、県に報告済み。

(2) 令和5年度学校評価報告書(目標設定)について

- ・学校目標等を各グループリーダーによる概要説明。

[全日制]

(学習学事G)

1 教育課程、学習指導

- ・旧カリがなくなり、新カリのみとなり、問題が発生しないようにする。
- ・選択科目を進路に応じて選択させる。

(校長)

2 生徒指導、支援

- ・部活加入率が低下傾向にある。活性化のためにも、SNSでの公開等の取り組みをする。
- ・月に1回CO会議を行い、丁寧な指導を行う。
- ・今年度はSCを講師に招き、職員の講習を行う。
- ・コロナによる制限がなくなったため、教育活動の充実を図る。

(校長)

3 進路指導、支援

- ・様々なガイダンスを企画し、進路について考える機会を多くして、少しでも自己にあった進路実現ができるようにする。

5 進路指導、支援

- ・全生徒・職員が安心・安全に活動できるようにする。
- ・不祥事防止に取り組む。

(委員) : 「系列」について、生徒は4つの系列のうち、どのような進路に進むのか、

傾向は。また、その進路に進むのか。

(学習学事 G) : 生徒は自分自身の進路に必要な授業を選択し履修しているため、系列に縛られていない。

[定時制]

(学習指導、進路指導、学校管理 G)

1 教育課程 学習指導

昨年度 ICT による効果的な学習を行ったため、今年度は生徒同士の教え合い、学び合いといったグループ活動を行う。

幅広い教育活動を展開する。

ICT 研修、ICT を活用した支援や地域と連携した講座の設定をする。

3 進路指導・支援

10 月からの進路ガイダンスで生徒の支援をする。

5 学校管理・学校運営

毎月、行ったことを HP に掲載して広報を行っていく。

(生徒指導、生徒支援 G)

2 生徒指導・支援

生徒は個々に課題を抱えているため、アンケートを行い、SC、SSW につなぐ等の取り組みをする。

生活リズムが夜型になりやすいため、生活習慣の改善は難しい。

社会との関わり方を教え、社会に出ても困らないように支援する。

4 地域等との協働

年 1 回の清掃活動による地域貢献を自治会と連携して行い、この活動を通して社会の一員として自覚させる。

講師を呼び、講演会をする。

(委員) : キャリア教育に力を入れられている点が素晴らしいので、引き続き力を入れてほしい。どのような選択をすれば良いか、我々と高校生と考えが違っているため、どのように選んでいるのか。

(総括教諭) : 求められている人材について、今後を踏まえて映像を見せたりしてキャリア教育を進めている。

8 年間計画

資料参照

9 その他

(委員) : 学校に来ると、生徒が元気よく挨拶してくれるという印象。

(委員) : 人数が少ないが仲が良いという印象。

10 閉会